

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	BCPを活用した防災の訓練の定着がなされておらず、火災訓練と水害などによる訓練にとどまっている。地震、また大雪の時のマニュアルの確認や訓練も取り入れていきたい。またBCP計画マニュアルの定期的な確認、見直しを行っていく。	BCPを活用した防災マニュアルの定期的な見直しと、地震、大雪の時のBCP活用の訓練を取り入れていく。地域との協力関係のもと、すぐに動ける体制を作っていく。	①定期的な訓練、研修の計画的な実施。 ②職員がもれなくマニュアルの理解ができるように、カンファレンスを活用した勉強会の実施。 ③運営推進会議を利用し、地域との連携を確認しあう。	11ヶ月
2	39				
3	33	実地指導にて看取り介護について、看取り加算についての留意点の助言があり、その項目に対し改善していく(マニュアルの定期的な見直し、看取りの同意にいたるまでの経緯や日時や内容の記録、家族との会話などの記録の不足)。	看護師、可能であれば医師とも連携をはかり、看取りの指針、マニュアルの見直しを行い、同意の精細な記録、また経過記録の正しい記載の行い方を全職員に周知する。	①現在あるマニュアルや指針を、看護師、可能であれば医師と協議見直しを行い、今の体制に合ったものにする。 ②看取り介護計画の様式の見直しと正しい記録の取り方の勉強会を行う。 ③家族との会話、気持ちの変化などこと細やかに記録に残すようにする。	11ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。